

## ■関係人口の拡充

「鹿角家」の交流拠点施設に新たに宿泊機能を追加し、古民家を活用した滞在型の体験ツアーを充実させ、交流を深化させながら関係人口の拡大を図ります。また、本市出身の若者を対象とした鹿角家U25では、ふるさと仕送り便に加え、新たに首都圏での交流会を開催し、ふるさとへの愛着とUターン機運の醸成を図ります。

## ■交流人口の拡大

東京都葛飾区との交流において、産業フェアへの参加や本市の木材の利用に向けた取り組みを進めます。また、市内の事業所や団体と首都圏の大学などとのネットワークによる域学連携プログラムを展開し、大学が有する人的・知的資源と本市の地域資源を相互に有効活用し、地域課題の解決にいかします。

さらに、武蔵野大学の専門研究ゼミの誘致に加え、新たに本市で調査研究活動を行う大学を誘致するとともに、テーマに応じて市内に鹿角版サテライトキャンパスを設置し、本

# 教育執行方針

令和4年第2回市議会定例会で教育長が発表した「教育執行方針」から、教育行政における本市が目指す方向性と今年度の取り組みをお伝えします。

## ■学校教育の充実

主体的・対話的で深い学びのある授業を展開するために、学習活動の基盤となる学習集団のアセスメントを年2回実施し、各種学力検査の結果とともに分析を行い、学級経営や授業改善に生かすほか、児童生徒の学力の向上に役立てます。

また、ふるさとの良さに触れる体験活動を通じて、ふるさに誇りを持ち、地域の良さを積極的に発信しようとする児童生徒の育成に努めます。さらには、児童生徒の地元企業における職場体験や、地域行事への参加を推進し、将来の夢と望ましい

市で学ぶ学生を増やします。また、研究成果は、市民公開講座で報告するほか、市内の中・高校生向けの特別講義を開催し、中・高校生が地域の良さと課題に目を向け、新たな価値の創造や自主的な問題解決にチャレンジする意欲を育みます。

## ■移住・定住の促進

移住に関心のある子育て中のシングルマザーを対象とした移住体験ツアーのほか、オンライン相談や動画を活用した情報発信を積極的に展開します。また、人口構造の若返りを目指し、若年層の呼び込みと若者定着によって地域社会の担い手を確保するため、本市で働きながら奨学金を返還する方を支援します。

## ■ブランド農畜産物の販売促進

シンテツポウユリや啓翁桜などの花きについては、全国的に需要が高まる時期に合わせた出荷が可能であるほか、冬期作物としても安定収入が見込まれることから、さらなる生産拡大に取り組みます。

かづの牛については、頭数の維持・拡大を支援し、枝肉出荷頭数100頭台の達成と早期GI登録に向け、関係機関や畜産農家と連携しながら、ブランドの確立を目指します。

ら、ブランドの確立を目指します。

## ■稼げる観光振興

市内の民俗芸能などが一堂に会する鹿魂祭を、市制施行50周年を記念して「大鹿魂祭」として開催するほか、国立公園八幡平エリアの魅力アップ構想を着実に進めます。

また、これまでの取り組みの成果や課題を踏まえ、「稼げる観光」のさらなる具現化を図りながら、戦略的に施策を展開します。

## ■エネルギー産業の育成

カーボンニュートラルの実現に向けた実行計画を策定し、豊かな再生可能エネルギーをいかした新たな製品やサービスの創出など、市内産業の活性化策の具現化を目指します。

## ■世界遺産のまちづくり

大湯環状列石の世界文化遺産登録1周年記念シンポジウムの開催のほか、体験学習やガイドのレベルアップ講座を開催し、遺跡を適切に保全する環境を整えます。

ヘリテージ・ツーリズムの推進については、本市の持つ歴史・文化の魅力を感じするプレミアムツアーのほか、北秋田市と連携して体験型観光コースを造成し、「世界遺産のまち・かづの」としての認知度を向上させます。また、大湯環状列石JOMON体感促進事業により、遺跡の魅力により深く、よりリアルに体験できるプログラムの造成を進めます。

## ■未来技術の導入

市民サービスと利便性の向上を図るため、電子申請サービスを拡充するとともに、自治体DXによって行政事務の迅速化と効率化を図ることにより、施策推進の基盤となる行政の経営力を高めます。

## ■地域人材の育成・活動支援

地域の課題解決やコミュニティの活性化に向けた取り組みをさらに強化するため、市長と地域住民が意見交換する「地域づくりミーティング」を新たに開催し、市民や地域との対話を重ねていきます。

の開催を通じて、地域活性化やまちづくりにも寄与します。

スポーツ施設の利用促進と整備については、東山レクリエーションエリアをはじめ、恵まれたスポーツ環境の中で、利用者が安全かつ快適に使用できるよう、老朽施設の改修や用具などのさらなる充実を計画的に進めます。

## ■文化・芸術の振興

文化の社交流館を拠点とした文化芸術鑑賞機会の充実を図るとともに、郷土の伝統芸能や市民の文化芸術活動を支援し、特色ある文化芸術活動の振興を図ります。

文化財の保存と活用については、保存会や関係団体が行う後継者育成、継承活動を支援するとともに、将来に向けた文化財の保存活用を図る地域計画の策定を進めます。また、歴史民俗資料館や先人顕彰館などにおいて、郷土の歴史や民俗資料の調査研究の成果に基づいた学習機会の提供に努めます。

また、世界文化遺産に登録された大湯環状列石について、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の一層の連携のもと、国内外への情報発信を図るとともに、魅力ある地域資源として観光や地域活性化に向けた活用を推進します。

## ■生涯学習の推進

生涯学習活動の効果的な推進に向けて、社会教育や福祉関係団体、自治会などとの一層の連携を図ります。

また、インターネットの活用による情報発信の強化や多様な学びの機会の提供のほか、図書館を拠点とした学びの充実に向けて、図書館施設の更新を進めます。

地域を担う人材を育成するため、地域の課題解決や活性化に向けた学習機会の提供や学習活動支援の充実を図ります。

## ■スポーツの推進

体力や年齢に応じ、生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、チャレンジデーやタートルマラソンなど、気軽に親しむことのできる運動機会を創出し、健康づくりに対する市民意識の向上を図ります。

また、引き続き「スキーと駅伝のまち」を掲げ、十和田八幡平駅伝競走全国大会や全日本学生スキー選手権大会など各種大会やイベントなど